

2012 年度明治大学文学研究科文化継承学特別講演会のご案内

このたび『大唐西市博物館蔵墓誌』上中下3巻（胡戟・栄新江主編、北京大学出版社）が刊行されました。本書には500点にのぼる墓誌が収載され、うち9割以上を唐代墓誌が占め（「隋唐墓誌」でカウントすると485点、97%）、多方面にわたる膨大な新史料が含まれると伝えられています。

本書の刊行は、北京大学をはじめとする北京地区の大学・研究所の研究者や大学院生が協力し、西安地区の研究者も加え、総勢70名を越える多数の人々が2年余りの歳月をかけて実現しました。中国においてこうした大規模で系統だった協力態勢を組んだ仕事は過去にほとんどなかったと思われます。

この仕事をリードしたのが北京大学の栄新江先生ですが、おりよく国立情報学研究所（NII）の招きで来日されます。そこでこの機会に、近刊『大唐西市博物館蔵墓誌』の意義と整理過程の苦労や裏話などを聞く機会を設定させていただきました。本書は今後当該分野の研究に、大きな刺激を与えることが予感されます。そのことを理解する意味でも、皆様のご参加を歓迎いたします。講演終了後に自由な質疑応答の時間を用意いたします。

記

日時 2013年3月5日（火） 午後3時-5時

場所 明治大学リバティタワー19階 119F 教室（大学院教室）

明治大学駿河台キャンパス（JR御茶ノ水・地下鉄神保町徒歩5分）

講師 栄新江先生（北京大学中国古代史研究中心主任、同歴史系教授）

題目 大唐西市博物館所蔵墓誌の整理と唐研究上の意義

（中文題目：大唐西市博物館蔵墓誌的整理及其對唐研究的意義）

パワーポイントを使用、

通訳：梶山智史・明治大学文学部兼任講師

主催：明治大学大学院文学研究科文化継承学（講座）

明治大学東アジア石刻文物研究所(email:ishiken@kisc.meiji.ac.jp)

世話人：氣賀澤保規（文学部教授）03-3296-2187

後援：国立情報学研究所（NII）

URL：<http://dsr.nii.ac.jp/>

（付記）3月8日（金）・9日（土）には明治大学におきまして、

明治大学・北京師範大学・台湾大学主催

第2回“中国中世（中古）社会諸形態”国際大学院生若手研究者学術交流論壇を開催いたします。魏晋南北朝・隋唐時代を中心に、内外24名の院生若手研究者が報告します。どうぞこちらのご参加もこころより歓迎いたします。